

保護者の皆様

伊沢小学校長 佐藤 信之

学校教育についてのアンケート結果について（ご報告）

立春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育の推進にご協力をお願い誠にありがとうございます。

1月に本校教育に関するアンケートを実施しましたところ、保護者の皆様には、ご多用中にもかかわらずご協力いただきありがとうございました。その結果をまとめましたのでご報告いたします。皆様からの評価を真摯に受け止め、今後の本校教育に活かしてまいりたいと考えています。今後ともご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

グラフの見方

それぞれの項目について、保護者評価は（保護者）、職員評価は（職員）と表記しています。観点別結果は別紙をご覧ください。

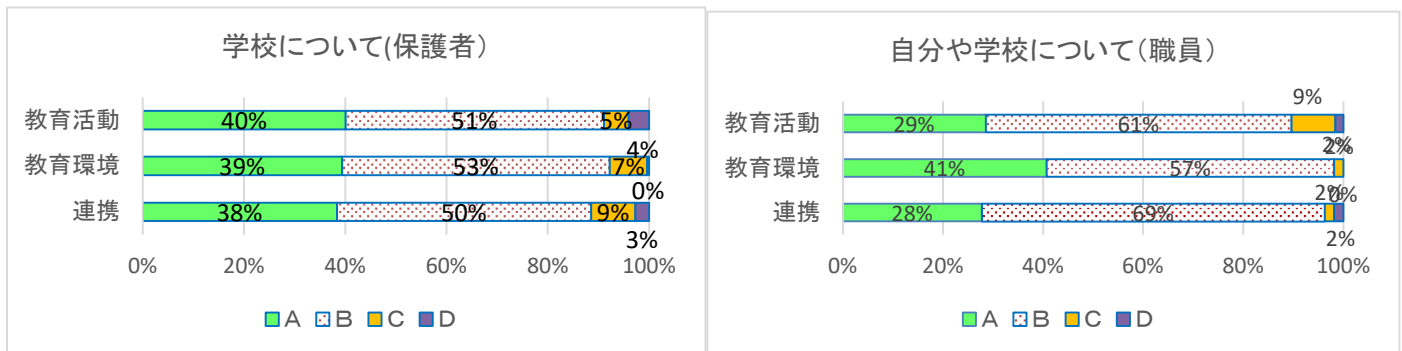
A：そう思う。または、できている。

B：どちらかというと思う。または、どちらかといえばできている。

C：どちらかというと思わない。または、どちらかといえばできていない。

D：そうは思わない。または、できていない。

1 学校について



(1) 教育活動について

学校目標については、年度始めの PTA 総会や学校だより等でお伝えし、その周知については、保護者の方々から 82%という評価をいただきました。アンケートで「学校に行くのは楽しい」と答えた児童は 84%であり、教育活動全般にわたる保護者の方々からの A・B 評価は 91%という高評価をいただきました。保護者・職員とも課題があると感じている (C・D 評価) の割合は、それぞれ 4%、2%となっております。今後も子どもたち一人一人としっかりと向き合うとともに、コロナ禍においても、1人1台端末を有効に活用しオンライン学習も随時開催することで、学力保障を行ってまいりました。児童の確かな学力を向上させることができるよう、学習活動の工夫と基礎・基本の定着を目指して分かりやすい授業を心がけてまいります。

(2) 教育環境について

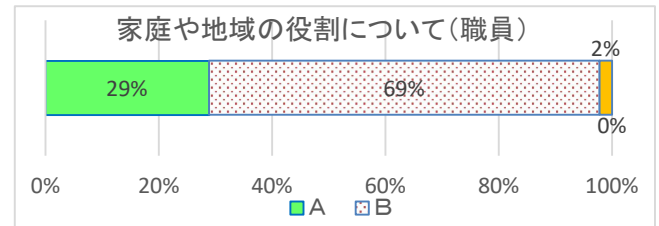
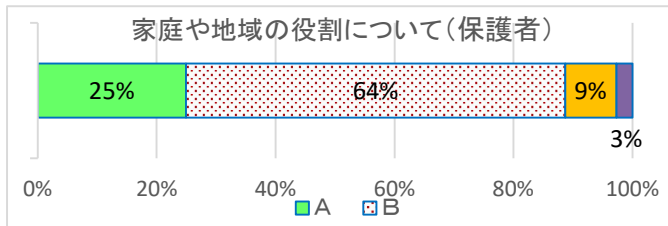
「学校は、整理整頓に気を配り、いつもきれいか」に対する保護者評価は 88%と高評価となっております。しかし、施設・設備の中には古くなっているものもあることから、定期的に安全点検を実施する

とともに、修繕や取り替えが必要な場合は早期に対応していくようにいたします。

(3) 連携について

「子どもの様子や学習状況をわかりやすく伝えているか」に対する保護者評価は 83%でした。今後も個人懇談、学年通信、ホームページ、メールでのお知らせはもとより、テレビ会議システムを活用した PTA 学年懇談の開催等、工夫して連携していきたいと考えています。また、本校は、教育活動全般において地域のいろいろな方々からの協力を得て充実した体験活動を実施することができています。これからも地域との連携を位置づけ意義深い活動ができるようにしていきたいと考えております。

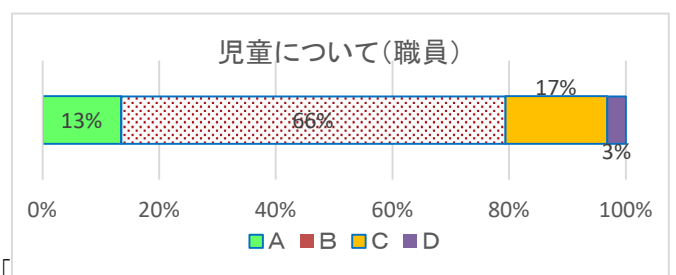
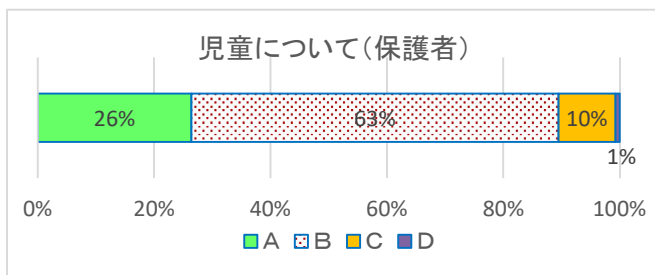
2 家庭・地域の役割について



「学校教育活動や PTA 活動、地域での行事活動に積極的に参加・協力してるか」に対して保護者評価は 70%と低いですが、職員評価は 90%と高くなっています。コロナ禍ではありますが、感染対策が定着したこともあり、学校行事がすべて開催できました。その行事に対する保護者の方々の参加率が非常に高いことは、とてもありがたいことです。また、PTA活動の一環である交通安全指導にも積極的に協力し児童の安全を見守ってくれています。

子どもたちはタブレットパソコンを持ち帰ることが増えたため、動画視聴の時間が増え、インターネットの利用時間も長くなる傾向にあることから、昨年度定めた「タブレットパソコンのよき使い手となるための 15 の約束」を徹底し、情報モラルを身に付けるとともに、賢い消費者として正しい知識を身に付けるよう努めてまいります。不適切動画のアップロード等が社会問題となっています。情報モラルの徹底につきましては保護者の皆様のご協力が不可欠です。ご家庭でのご指導もどうぞよろしくお願いいたします。

3 子どもについて



「学校へ行くのを楽しみにしている」85%、「友達と仲よく助け合って、遊んだり勉強したりしている」86%と高評価ですが、「周りのためになる活動を進んでやろうとしている」は 75%という評価でした。

学校では、配備された一人一台端末を活用し活用し授業改善を行う取り組みを 2 年余り続けてまいりました。一人ひとりの習熟度にあった形で学びを進められる授業の実現を進めています。その中で、児童の思考や表現の道具として活用され始めています。自分の端末で文章を書いたり、数字を分析したりして、それを先生に簡単に提出できるようになりました。また、表現と思考のアウトプットが増え、試行錯誤を恐れずにいろいろな表現に取り組めることができ始めています。次年度も今年度の反省をもとに取組を続けていきたいと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。